

2020年度 共同研究公募要項



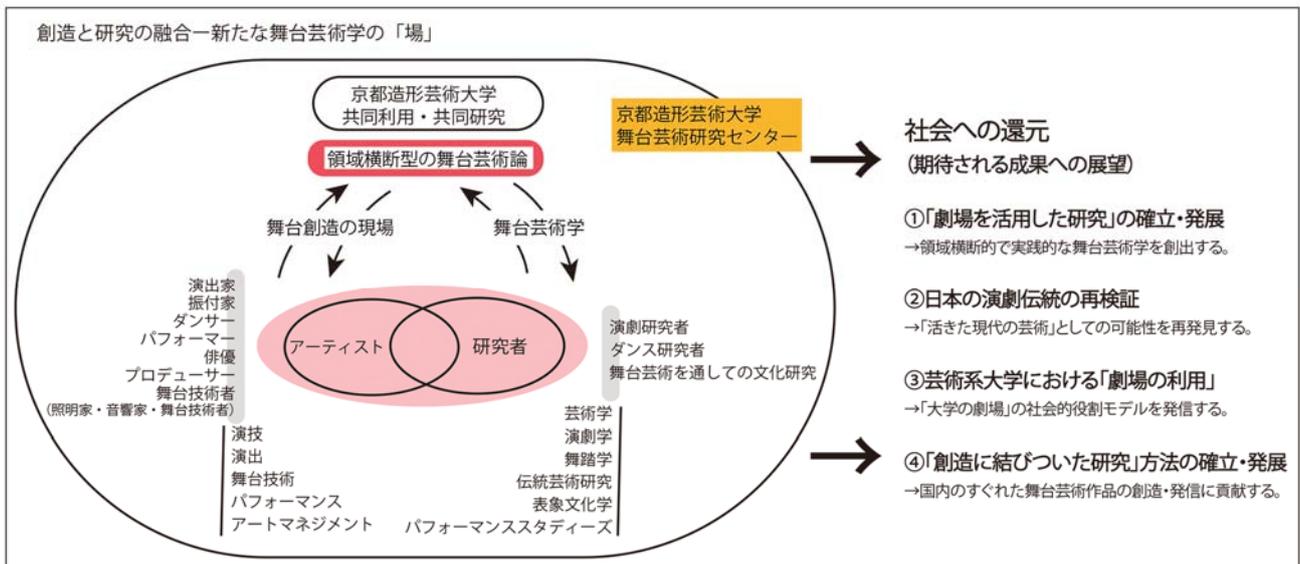
1. 趣旨・本公募事業の目的

「舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点」は、京都造形芸術大学舞台芸術研究センターが、文部科学省より「共同利用・共同研究拠点」の認定を受け、2013年に設置された研究機関です。京都造形芸術大学内にある本格的な劇場施設「京都芸術劇場」（大劇場：春秋座、小劇場：studio21）を研究施設とし、独自の研究活動を展開してきました。本研究拠点が担う「ラボラトリー機能」とは、将来的な作品の創造や、劇場の新たな社会的機能の発見に寄与するような研究・実験を指しています。

本公募事業では、「ラボラトリー機能」に関わる研究プロジェクトとして、
【劇場実験型】【リサーチ支援型】の研究を広く募集します。

(Ⅰ) **【劇場実験型】**は、京都芸術劇場を活用した「劇場実験」を研究プロセスの中心に据え、研究者とアーティスト・舞台技術者等の協働による研究チームによって行われる研究プロジェクトを指しています。創造と研究の連携を通じた実践的な研究を支援することで、新たな舞台芸術のヴィジョンを構想する先進的な研究を奨励するものです。

(Ⅱ) **【リサーチ支援型】**は、劇場実験や作品の創作、発表に至る前段階の「リサーチ」を中心とする研究プロジェクトを指しています。新しい発想からなる舞台芸術作品の創作に向けた文献調査やフィールドワーク、その他創作のための劇場実験を将来的に見据えた「リサーチ」を中心とした研究を奨励するものです。



(I) 【劇場実験型】募集要項

【劇場実験型】は、京都芸術劇場を活用した「劇場実験」を研究プロセスの中心に据え、研究者とアーティスト・舞台技術者等の協働による研究チームによって行われる研究プロジェクトを指しています。創造と研究の連携を通じた実践的な研究を支援することで、新たな舞台芸術のヴィジョンを構想する先進的な研究を奨励するものです。

▶公募内容

舞台芸術(演劇、ダンス、伝統芸能、領域横断的パフォーミング・アーツ等)に関連し、京都芸術劇場(春秋座・studio21等)を活用して行われる実践的研究。

研究の視点としては、以下のいずれかに当てはまるものであることを原則とします。

- ・ 作品の創作に向けたアーティストと研究者による劇場実験
- ・ 研究者を中心とする劇場を利用した研究プロジェクト
- ・ 舞台技術者を中心とした劇場機構の可能性を探究する研究プロジェクト

▶応募資格

以下のいずれかにあてはまること。

- ・ 大学その他の研究機関に所属する研究者、アーティスト、舞台技術者(いずれも常勤、非常勤は問いません)
- ・ 現在、舞台芸術の現場に関わっているアーティスト・舞台技術者・舞台批評家
- ・ 大学院(海外の大学院を含む)を修了し、博士の学位を得ているか、またはそれに準ずる研究業績を持っている者

※日本学術振興会特別研究員など他機関の専従義務がある研究者は、研究代表者になることはできません。研究分担者、研究協力者としての参加は可能ですが、その場合、専従義務のある機関に本人の責任で届け出を行う必要があります(日本学術振興会特別研究員の場合、PDに限ります。DC1、DC2は研究分担者、研究協力者にもなることはできません)。

▶研究チームの編成

- ・ **研究代表者**＝研究の中心となり、研究の遂行に責任を持つ人を指します(研究リーダー:1名)。
(この公募プロジェクトに係る業務に対して謝礼を受取ることはできません)
- ・ **研究分担者**＝共同研究者として、研究の遂行に責任を持つ人を指します(コラボレーター/研究グループ:複数名)。
(この公募プロジェクトに係る業務に対して謝礼を受取ることはできません)
- ・ **研究協力者**＝研究遂行に必要な研究者、アーティスト、舞台技術者等を指します。
(この公募プロジェクトに係る業務に対して謝礼を支払うことが可能です)
- ・ 劇場実験等には、それに関する固有の準備などが発生するため、制作者等のマネジメント担当者を必ず1名、分担者もしくは協力者の中においてください(舞台制作の経験がある方が望ましい)。また、研究プロジェクトの軸となる劇場実験に際して必要な舞台技術者についても申請書に具体的にご記入ください。
- ・ 研究チームはできるだけ複数の大学・研究機関に所属する研究者及びアーティストまたは舞台技術者で構成してください。
- ・ 研究代表者が大学や研究機関等に所属している場合には、その所属機関の了解を得た上で応募してください。また、研究代表者は、申請に際しては、あらかじめ研究分担者に参加の内諾を得てください。

▶劇場および使用可能な設備

最終的な研究発表の場として、京都芸術劇場(春秋座・studio21)を使用させていただきます。劇場の使用スケジュール、使用形態等については採択決定後、当拠点と相談・調整の上、最終的に決定となります。従って、応募に際しては、研究プロジェクトの目的・内容に応じた使用規模を記入してください。また、劇場管理スタッフはこちらで手配しますが、仕込みやオペレーションを行うスタッフは各研究チームで手配ください。

・春秋座(大劇場)

観客席・舞台ともに本格的な歌舞伎スタイルを基本としながら、現代劇などの上演にも対応できる設計が特徴です。歌舞伎のための花道、廻り舞台、鳥屋などを設置する一方で、オペラなどのためのオーケストラピットを設け、各種の舞台表現にも活用できる工夫を凝らしています。

・studio21(小劇場)

現代演劇やダンス、パフォーマンスなど、さまざまな舞台芸術のための実験空間です。移動可能な照明設備や音響装置を備え、天井グリッドには機材や美術装置を自在に吊ることができます。客席用ひな壇は組替式で、スペースの縦使いや横使いも自由です。

施設の詳細については、京都芸術劇場 HP 「劇場案内」の「施設案内」をご覧ください。

⇒URL http://k-pac.org/?page_id=35

▶研究対象期間 : 2020年4月1日～2021年3月31日

(ただし、本学予算執行の都合上、2021年2月末までに研究会が終了する研究プロジェクトが望ましい)

▶研究予算 : 1件につき年間 100万円～250万円上限

(採択された研究プロジェクトには、上記の範囲内で必要な研究費を、本研究拠点が支給する)

▶採択件数 : 2件程度を予定

▶応募方法

共同利用・共同研究拠点事務局 (kuad.kpac.kyoten@gmail.com) 宛に、E-mail にて以下の通りに必要書類を締切までにご提出ください。

必要書類 : 2020年度【劇場実験型】公募申請書(PDF形式)

件名 : 2020年度【劇場実験型】応募

本文 : 研究課題名、代表者名、連絡先をご明記ください。

※選考結果は2019年11月末までに採否いずれの場合も、応募者にメールにて通知します

※採択後は、プロジェクト開始前(2020年3月中を予定)に、劇場の使用の仕方および使用スケジュールについて、事前打合せの機会を設けます。

応募締切 : 2019年8月20日(火)23:59 まで(必着)

(Ⅱ)【リサーチ支援型】募集要項

【リサーチ支援型】は、劇場実験や作品の創作、発表に至る前段階の「リサーチ」を中心とする研究プロジェクトを指しています。新しい発想からなる舞台芸術作品の創作に向けた文献調査やフィールドワーク、その他創作のための劇場実験を将来的に見据えた「リサーチ」を中心とした研究を奨励するものです。

▶公募内容

新しい発想からなる舞台芸術作品の創作に係る学術研究や実地調査、または創作のための劇場実験を将来的に見据えた研究。

▶応募資格

アーティスト（演出・振付・ダンサー・舞台技術・アートマネジメント他）、研究者の別を問わず応募できます。
※アーティストにはパフォーマンスアーツ以外のジャンルも含まれます。

▶研究チームの編成

個人またはチームによる申請、いずれも可能です。チームの編成に関する指定はありません。

▶研究対象期間 : 2020年4月1日より2021年3月31日まで

(ただし、本学予算執行の都合上、2021年2月末までに研究会が終了する研究プロジェクトが望ましい)

▶研究予算 : 1件につき年間30万円～80万円

(採択された研究プロジェクトには、上記の範囲内で必要な研究費を、本研究拠点が支給する)

▶採択件数 : 2件程度を予定

▶応募方法

共同利用・共同研究拠点事務局 (kuad.kpac.kyoten@gmail.com) 宛に、E-mail にて以下の通りに必要書類を締切までにご提出ください。

必要書類 : 2020年度【リサーチ支援型】公募申請書(PDF形式)

件名 : 2020年度【リサーチ支援型】応募

本文 : 研究課題名、代表者名、連絡先をご明記ください。

※選考結果は2020年3月末までに採否いずれの場合も、応募者にメールにて通知します。

応募締切 : 2019年12月10日(火)23:59 まで(必着)

以下、(Ⅰ)(Ⅱ) 共通

▶選考・審査

- ・ 選考基準は独創性、実現性を基準として総合的に評価し、京都造形芸術大学および学外の教員、有識者から構成される運営委員会において決定されます。なお、運営委員の構成については共同利用ウェブサイトの「運営組織」をご覧ください。⇒URL www.k-pac.org/kyoten/organization/
- ・ 発表前の選考に関するお問合せはご遠慮ください。

▶留意事項

- ・ 応募申請書は本拠点の ウェブサイト(k-pac.org/kyoten/public/)よりダウンロードしてください。
- ・ 一度提出した申請書、資料の差替えや返却は原則としてできません。
- ・ E-mail のみのご応募とします。郵送や持ち込みでの応募は受付致しません。
- ・ 必着日時を過ぎて到着した申請書に関しては、いかなる場合でも受理致しません。
- ・ 研究代表者として申請できるのは1人につき1件までです。
- ・ 研究計画が複数年度にわたるプロジェクトの申請も可能ですが、採択は単年度毎とします。
- ・ 支給される研究費の最終的な金額は、審査会での議を経て、本研究拠点が決定するものとします。なお、申請額通りの支給とならない場合もありますので、あらかじめご了承ください。審査は、本研究拠点の運営委員により行われます。
- ・ 採択後の予算執行は、京都造形芸術大学が定める規定及び本研究拠点の規定に基づいて行っていただきます。研究プロジェクトに直接必要と認められる支出以外の執行はできません。
- ・ 公開の研究会等を有料で行うことはできません。
- ・ 事業終了後の研究成果の出版等による公表については、事前に拠点事務局にご連絡ください。
- ・ 研究遂行上収集した資料(図書、DVD等の視聴覚資料)、機材については、原則として全て本研究拠点に属するものとします。
- ・ 採択された公募研究プロジェクトの参加者は、共同利用・共同研究拠点の図書、資料等を必要に応じて利用することができます。

【研究プロジェクト終了後の報告について】

採択された研究プロジェクトには

- ① 年度末に開催される「研究報告会」での研究報告(プレゼンテーション)
 - ② 公開を前提とした研究報告書の執筆・提出
- の2つを行っていただきます。日程や締め切り等については、採択後の調整となります。

▶お問い合わせ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 共同利用・共同研究拠点事務局 担当

〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山 2-116

TEL:075-791-9144(平日 10:00-17:00)

E-mail:kyoten@kuad.kyoto-art.ac.jp

共同利用・共同研究拠点ウェブサイト k-pac.org/kyoten/

京都芸術劇場ウェブサイト k-pac.org/